

## 通学方法について

### 1 統合委員会で提案のあった通学方法等

- ・ スクールバスの運行
- ・ バスや電車などの公共交通機関の利用とその費用の補助
- ・ 夏季の熱中症問題、不審者対策、交通安全対策も含めての検討

### 2 市内中学校の通学方法の状況

通 学 方 法	学 校 名
徒歩（11校中9校）	・ 豊岡中学校 ・ 藤沢中学校 ・ 西武中学校 ・ 向原中学校 ・ 黒須中学校 ・ 東金子中学校 ・ 上藤沢中学校 ・ 東町中学校 ・ 野田中学校
徒歩と自転車通学（11校中2校）	・ 金子中学校 ・ 武蔵中学校

### 3 自転車通学の許可要件について

学 校 名	許 可 要 件
金子中学校	距離：自宅から学校までの直線距離が1.5 km以上
武蔵中学校	距離：自宅から学校までの直線距離が1.5 km以上

### 4 国が考える通学距離及び通学時間の目安

- ・ 通学距離は小学校：4 km以内、中学校：6 km以内（徒歩・自転車を前提）
- ・ 通学時間はスクールバス利用等、通学実態の多様化を踏まえ1時間以内

出典 文部科学省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」

### 5 スクールバスや公共交通機関を利用した場合の懸念事項

- ・ 通学時間や通学距離が増える可能性がある
- ・ 歩かなくなることによる体力低下が懸念される
- ・ 部活動や放課後の教育活動が行いにくくなる可能性がある

出典 平成 31 年度「少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業」「小中学生の生活、健康・体力、学習に通学手段・時間が及ぼす影響－発達段階別比較－」報告書

## 6 事務局の考え

事務局では、統合委員会での意見、文部科学省が示す手引や市内中学校の実情を踏まえ統合後は、金子中学校や武蔵中学校と同様、原則は徒歩とし、自宅から学校までの直線距離が1.5 km以上の生徒を対象に、学校長の許可を得て自転車通学を認める方法が良いものと提案いたします。

なお、徒歩及び自転車通学となる場合は、学校において自宅から学校までの距離や安全面での諸条件を設け、通学中の安全面に配慮し許可を行うこととなります。

- ・ 市内中学校の通学距離は一部の学校を除き2.0 km前後です。  
統合後の現野田中学校や現西武中学校では、一部地域で2.0 kmを超える距離となりますが、金子中学校や武蔵中学校と概ね同じ環境と考えられます。
- ・ 国の資料によると、交通機関の活用により毎日の徒歩時間が減少し、体力低下の懸念があるなどの課題があります。対策として、正門から離れたところにバスの停留所を設けて歩数を確保し、体力の低下が生じないよう工夫する取組をしている例があります。
- ・ 公共交通機関の利用に伴う、交通費の公費負担については、期間限定でという意見もありましたが、西武地区以外の中学校生徒への対応も検討する必要があり、実施は難しいと考えます。